2015 年度　活動報告書

# わじま親子昆虫クラブ

## 石休場の里山自然体験活動

一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

この活動は一般財団法人セブン‐イレブン記念財団
2015年度公募助成を受けています。

## 輪島親子昆虫クラブとは？

2014 年に地域のお母さんたちの声から出来たボランティア団体です。

自然豊かな能登に住んでいるのだから自然の中で子どもと遊びたい！

生き物のことを学びたい！木を伐りたい！との声から誕生しました。

石川県輪島市で生き物観察会や里山保全などをおこないます！

親子はもちろん、大人だけでも参加可能です！

里山保全、生物観察、農業、林業、森のようちえんなど、里山で活動します。

活動を通じて荒廃した里山が魅力的な風景になること目的としています。

## 石休場の里山自然体活動の目的

能登には放置されている山や田んぼ、畑が多くあり、地域の方は高齢化などにより管理しきれず困っている。また輪島市街に住む親子は里山で遊ぶ機会がほとんどないが、山の木を伐ってみたい！昆虫観察をしたい！自然に触れさせたい！という親の要望もある。荒れている田んぼでビオトープを作り、生き物観察を行い、山を整備して木工などを楽しむことで、里山が生かされ、地域も親子も喜び里山が元気になることを目的とする。

## 成果目標

里山で親子が楽しむことで、里山の可能性を地域の方々が再認識し、自分の里山を荒れたままにしているのはもったいないと感じる。
参加者は、里山を管理する大変さと里山の副産物でいろいろなものができるというプラスとマイナスの面を理解してもらい、里山の整備について興味をもってもらう。里山がきれいになり、元気になる。里山の生き物が増え、他の機能も復活する。徐々に場所を広げていき、地域全体の里山が元気になる。親子で体験することによって地域の良さや問題点を知り、もっと住みよい地域にしたいと思う。自然体験を経験することにより親子も成長していく。

## 数値目標

放棄された田んぼ 2 枚をビオトープにする
山の整備は 1 回あたり 1 家族 3 本以上の木を伐る
のべ 120 組の家族と活動する。

## 活動場所　輪島市石休場町

**４月２９日（水）生き物観察と山の木を伐ろう！**

石休場町の山奥、高齢化で下草刈をやめてしまった山での活動です。幼児から小学生までヘルメットをかぶり、のこぎりで一生懸命木を伐りました！　杉の林に生えている細かな雑木林を伐りました。もともと車も通れる道だった場所に生えている木をみんなで伐り、道が見えてきました。 生き物観察会では石休場町を流れる神田川での観察です。オタマジャクシがいると思ったら、川にすむカジカガエルという美しい鳴き声のカエルも観察できました。 石をひっくり返したり網ですくってみたり思い思いに子どもたちは観察していました。

**５月６日（水）生き物観察とバーとコールを作って野鳥を呼ぼう！**

　田植え前の田んぼで生き物観察会をしました。ちょうど飛び始めているトンボを何種類か観察できました。前回伐った木を利用してバードコールを作りました。鳴らしてみると本当に鳥がやってきました！大成功！枝笛も作りましたが、ちょっと難しく、音が鳴る人やなかなか鳴らない人などいました。悪戦苦闘しながらもお母さんたちが一生懸命頑張って作りました。

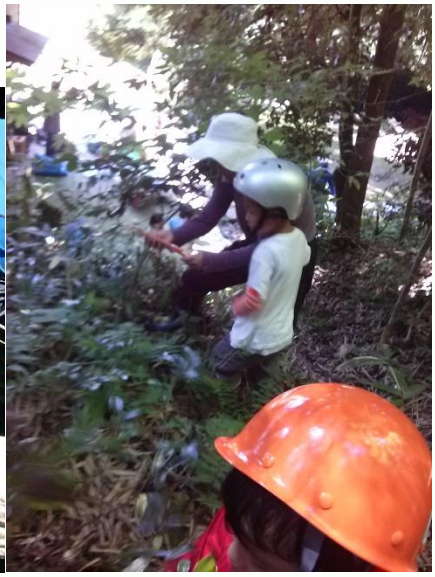
**６月１３日（土）田んぼの生き物観察会＆イモリの家づくり**

田んぼでの生き物観察会と山の奥へ入ってイモリの家づくりを行いました。田んぼではトンボを5種類ほどとヤゴや甲虫、鴨も観察できました。最近雨が降っていないのでイモリの家はからからに。ここは2年ほど前から田んぼを作るのをやめてしまった棚田の休耕田です。イノシシに収穫前の米を荒らされてしまってお米作りをやめてしまいました。奥能登で一番標高が高い高洲山からの湧水が流れているので小さな小川には水は溜まりますが何もしなければ休耕田には水は溜まりません。イモリの生息地を増やすために休耕田に水を溜めようとしていますがなかなか難しいです！

**7月１１日(土)川の生き物観察＆山の木を伐って作う**

川での観察会は、たも網を使って足で生き物を網の中に入れます。魚やカジカガエルの幼生(オタマジャクシ)、カジカガエル、カワトンボなどいろいろ観察できました。伸び放題の竹林の竹を伐り、竹ぽっくりやコップ、簡易水鉄砲などを作りました。スイカ割の棒も作ってスイカ割もしました。とても暑かったですが、川の水は冷たく気持ちよかったです。この付近の山の持ち主の方は高齢化のため山の整備をやめてしまいました。草も木も伸び放題でした。

**８月２日（日）山の生き物観察＆山の木を伐ろう！**



ヘルメットをかぶって山の木を伐りました。荒れてしまった杉林の周りに生えている雑木林を伐ります。やっぱり男の子はのこぎりを持ちたがり、自分で木を伐ります。女の子は座ってお茶をしていました。朽ち果てた木の下には甲虫の幼虫を観察できました。ほかにもアリジゴクの穴がたくさんあり観察しました。昨年、クワガタがいた大きなアベマキの木にはミヤマクワガタのメスが蜜を吸っていました。ほかにも今迄に行ったことのない場所へ探検もして川でヤゴも観察できました。

## ８月８日（土）ライトトラップ＆赤外線カメラで夜の森を観察しよう！

白いシーツにライトを照らして昆虫を呼びました。クワガタやカブトムシは来てくれませんでしたが、大物だとノコギリカミキリ、セミ、コガネムシ、カワゲラなど観察できました。また赤外線カメラで撮影した画像にはハクビシンとタヌキが写っていました。夕方に設置したバナナトラップをみに暗い森へ入るとベンジョコウロギ、ヤスデなど怪しい虫を発見し、そのあとくまなく探すとミヤマクワガタの雄と雌に出会えました！ やっとかっこいい虫が出てきてくれ、子どもたちも喜んでいました！

**９月６日（日）川の生き物観察会**

あいにくの雨でしたがどうにか観察しました！川の中に入り、 きれいなカワトンボやヤゴを観察しました。雨でも流れずに生き物は生息していました。 雨の中でも子どもたちは野山を元気に走り回り、お母さんたちはくたくたでした。集落を散策し、近くで飼われている牛にも出会えました。

**１０月１８日（日）田んぼの生き物観察＆山の木を伐ろう！**

稲刈りの終わった田んぼで生き物観察です。水路には水が溜まっていて子どもたちは泥だらけになりながら必死に虫を探していました。 大きなカエルも観察できました。山ではY字に木を伐り、ゴムを付けて落ちているどんぐりを飛ばして遊びました。

**１１月２３日（月）山の木を伐ろう！木や木の実でリースやツリーを作ろう！**

木の成長の妨げになるつたを山からと伐りリースを作りました。一人一人全く違った素敵なリースができました。 子どもたちは山の中を探検、川で生き物観察も行えました。

**１２月６日（日） 鳥の巣箱づくりと生き物観察**

珠洲市在住の鳥の専門家の方にもお越しいただきました。
巣箱は森林組合が作成したキットになっているのですが、それを子どもの力で自由に作ってください親は見ててください。と言われ子どもたちは一生懸命最後に時間切れになって手伝ってもらう子いましたが、みんな上手に作っていました。
今年の巣を作った巣箱を見せてもらうこともできました。
中にはまだ卵が残っていましたが、これはほかの鳥に邪魔されて卵をあたためるのをやめてしまったからだと教えてもらいました。 また、鳥についておもしろい話もいくつも教えてもらえました。
水生昆虫は、近くの水辺でトビケラをたくさん観察できました。
枝やゴミだと思っていたらその中に虫がすんでいます。
不思議な生き物の話をたくさん聞くことができました。 今回はパパの参加者も多くママが具だくさんの味噌汁を作ってくれてみんなで味わいました。 天気も良く子どもたちは外を走り回っていました！

**２月１１日（木） 生き物観察振り返り勉強会**

１月に予定していた勉強会が大雪のため実施できず日程を変更してスライドショーで振り返りを行いました。画面いっぱいに映る美しい昆虫を子どもたちは真剣に眺めていました。 お母さんやお父さんたちからも様々な質問があり、より深く生き物について学ぶことができました。

**３月６日（日）冬の生き物観察会＆しいたけの菌入れ**

雪がなかなか溶けず、ほだ木を移動させて室内で菌入れを行いました。 お母さんたちが力強くしいたけハンマーでほだ木に穴をあけて子どもたちがトンカチでシイタケの菌を打ち込みました。３歳から６歳までみんな満足してトンカチをたたいていました。 菌入れのあとは雪が解けている山で生き物観察を行いました。寒くて生き物も少ないですがテントウムシを見つけていました。子どもたちは雨にも負けず野山を走り回っていました。

**3月13日（日） 反省会**

　雪のため、山奥の活動場所で行えず、会場を変更しての反省会です。スライドショーによる今までの生き物観察等の反省会の後に田んぼや河原で生き物観察を実施しました。ヒラタドロムシ、コヤマトンボ幼虫など観察できました。

## 活動を終えて

**活動期間**　2015 年 4 月～2016 年 3 月
**活動回数**　13 回
**参加者数**　のべ 203 名
**参加者**　　0 歳～小学校 5 年生、両親、祖父母

**目的の達成度**

山の木を伐ってみたい！昆虫を観察したい！自然に触れさせたい！という親の要望は達成できた。ビオトープ作り、生き物観察、山の整備、木工を楽しめた。親子は喜べたが、地域も里山も元気になるにはまだ足りていない。

**成果目標の達成度**

参加者に母親が多いので当然だが、自分の子どもの成長についての関心が強く、里山や地域の可能性、里山が荒れていることについて真剣に考えるところまではまだあまり到達していない。里山を管理することは大変だという実感できた。また、木を伐って木工をすることが楽しいことも実感できた。里山で遊ぶのは楽しいことだというところまでは参加者が大体理解している。一部の参加者は里山や地域のことについて深く考え、生活や考え方に変化が出てきている。

**数値目標結果**

放棄されたたんぼ2枚をビオトープにできた。
山の整備は1回あたり1家族5本以上の木を伐ることができた。
のべ86組の家族と里山の中で活動した。

## 参加者の声を集めました。

幼児連れの親子でのこぎりを使っての里山保全は大変だったが、小さな子でも木を伐れて楽しめた。里山保全としては微力だったが、この体験によって能登の里山について考えることができ、里山を身近に感じることができた。　（4 歳女の子のお母さん）

生き物観察は子どもも大人も興味があり講師の野村先生によっていろいろな生き物を観察でき勉強になった。　（7 歳男の子のお母さん）

はじめは田んぼの中に入れなかったが、回を重ねていくうちに自ら田んぼに入り生き物を探していくようになった。　（3 歳女の子のお母さん）

私たちの住んでいる地域には様々な種類の生き物がいて、その生き物と一緒に暮らしているのだと実感できた。特に水生昆虫について学んでいくと排水に気を使い環境にやさしい洗剤を使うように変化した。　（4 歳男の子のお母さん）

子どもがのびのびと思いっきり遊べて子どものストレスがなくなった。
母親（父親）自身も自然の中で子どもの成長に驚きながら気持ちよく活動できた。
（5 歳男の子、3 歳女の子の両親）

私自身虫が大嫌いだったが、家の中で虫を見つけても怖いと思わなくなったので虫に対するストレスがなくなった。　（30 代お母さん）

能登の自然に四季を通して触れ合うことができたことは子どもにとってもいい経験。毎年毎年同じことを経験していくうちに能登の 1 年が子どもの成長とともに体にしみこんでいくのだなと思った。里山をいい環境にするためにも人が入って手入れをしなくてはいけないことを学べた。　（4歳男の子のお母さん）

虫に触れなかった子どもが自分から進んで触れるようになった。なかなか体験させてあげられないことを近場でみんなと楽しく体験させてあげられた。
（5 歳男の子のお母さん）

2015 年度　石休場の里山自然体験活動全１２回、無事に開催することができました。講師の方々をはじめとして参加してくれた皆さま、協力してくださった地域の皆様本当にどうもありがとうございました。

自分たちが住んでいる地域での里山の活動を通して地域の魅力を再発見し、さらに良い地域になっていくよう活動していきたいと思います。

今後も里山保全や生き物観察を通して自然豊かな能登の里山を残していきたいです。

輪島親子昆虫クラブ

## 能登の里山で出会える生き物の一部

写真：生き物観察会の講師、野村進也先生

カエルなどの両生類も観察できますが苦手な方も多いのでここには載せません。。

## もっと知りたい！参加してみたい！

### 今後の予定・活動紹介

HP　http://wajima-insect.jimdo.com/

輪島親子昆虫クラブFacebookページ

### お問い合わせ

✉　wajima.konchuclub@gmail.com

📠　020-4664-3472

輪島親子昆虫クラブの活動に必要な資金の寄付を募集しております。

北陸銀行　輪島支店　普通　口座番号　16019188

ゆうちょ銀行　店番　318　口座番号　1185877